

☆子ども会KYTシートについて☆

平素は伊勢原市子ども会育成会連絡協議会（市子連）事業にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

市子連では、年間を通して各子ども会で活用できる「^{ケ-ワイテイ-}K Y Tシート」を作成いたしました。

平成28年9月に広島県において、子ども会の清掃活動中に川での死亡事故が起きてしまいました。保護者も参加しての活動中に起きてしまったこのような死亡事故が、今後繰り返されないためにどのようにしたら良いかを考えました。

産業界で用いられている「^{Kiken Yochi Training}危険予知トレーニング」を元に、子ども会では「^{ケ-ワイテイ-}K Y T」が考案されました。保護者の方の職場でも、作業前の安全確認や、指し呼称等が行われているかもしれません。指導者に対しても、研修会などが実施されております。

保護者の方がいても、子どもたちが意識をしなければ、事故が起きる可能性はあります。子ども会活動中に、不幸な事故が起きてしまわぬよう、役員や保護者だけでなく子どもたち自身にも、安全について考えてもらう練習になればと、このようなシートを作成いたしました。使用方法として、次のとおり例を挙げさせていただきます。

内容についてご要望やご意見をいただきましたら、市子連役員または市子連事務局（市青少年課）までお願いいたします。

●KYTシート使用例（シートは3種類あります）

- ・表面は、子ども用として記入できるようにしました。裏面は、解説例となっております。
- ・子ども会活動の前にグループワークをしたり、自宅などで「身の回りの危険」について話し合い、お互いに気づき安全な行動ができるように、ご使用いただけたら幸いです。
- ・裏面の解説は一例です。あまり考えすぎず、楽しんでほしいです。**大切なのは、子どもたちがお互いの意見を聞くこと、考えて行動すること、人と相談しながら答えを見つけること**だと思います。

- ・ステップは、次の4つです。
 - ①危険を見つける
 - ②何が危険なのか考える
 - ③回避するための行動を考える
 - ④みんなで約束をする（スローガンを決める）

